

さんびょう 三錨Ⅷ

四日市市立富洲原小学校
学校だより

No. 27

～令和元年度 教育活動に関するアンケート結果と分析～

・アンケートにご協力ありがとうございます。主なものをご報告し、次年度のよりよい学校づくりに生かしてまいります。

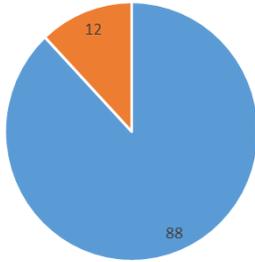
児童アンケート

A：そう思う B：どちらかといえばそう思う＝肯定的な回答
C：どちらかといえばそう思わない D：そう思わない＝否定的な回答



15問の総集計

児童アンケート



全体の傾向

全回答の集計は、肯定的な回答88%、否定的な回答12%でした。比較できる項目※をみると、本校の子どもたちの肯定的な回答割合は、全国平均またはそれを超えています。

否定的な回答をした子どもたちには、個々の課題に対する助言をしたり、教育相談をしたりと、一人ひとりに寄り添い、学校生活がより充実したものになるよう、努めていきます。

※(全国学力学習状況調査児童質問紙との比較)

強み

①学校生活は楽しい (本校)肯定的な回答 92% 【全国平均 85%】

多くの子どもたちは安定している様子。否定的な回答をした子ども(記名式)には、丁寧な対応をより心掛けます。

⑤自分でめあてを決め学習 肯定的な回答 88% 【全国平均 71%】

⑥授業で考え合ったり、話し合ったりする授業をしている
肯定的な回答 96% 【全国平均 74%】

⑮将来の夢や目標を持っている 肯定的な回答 90% 【全国平均 85%】

課題

③きまりを守っている 肯定的な回答 88% 【全国平均 92%】

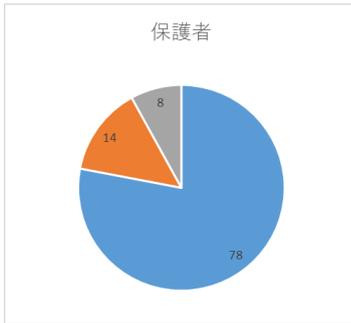
大きな開きがあるわけではないが、安心・安全な学校づくりにおいて、きまりを守る意識を向上すべく、道徳や集会など様々な場面で働きかけていきます。

⑩進んで本を読んでいる 肯定的な回答 76% 【全国平均 75%】

読書週間の設定や図書館司書、ボランティアさんと連携して、環境づくりに尽力していきます。

保護者用アンケート【提出数 285 通 回収率 88%】

学校教育活動 14 問



学校・子どもへの関わり



全体の傾向

学校教育活動 14 問総集計は、肯定的回答 78%、否定的回答 14%、わからない 8%でした。概ね例年通りの割合でした。

保護者自身の学校、児童への様子への関わりについては肯定的回答 82%、否定的回答 13%、わからない 5%でした。

安心・安全な学校がなによりです。特にいじめの早期発見と未然防止に努めることを最優先に学校活動を行ってまいります。

英語、プログラミング学習等、新しい教科や学習内容も充実するよう準備し、学力向上に一層努めます。



一層の充実・改善を図っていくもの

質問⑨「読書活動の工夫」日々の読書指導や読書週間を実施し、図書館ボランティア活動の支援を得て、子どもたちが読書に関心を持てる活動を工夫している。

朝の読書では、集中して読書する姿が見られます。また、図書委員会の読み聞かせ等の企画にも多くの子どもが参加しています。しかし、自分から読書に親しむ児童に偏りがあるのも現状です。PTA通信※「すずかけ230号」のように保護者の方と連携した取組みをより充実させていきたいと思ひます。
※先生おすすめ本→



質問②「基礎・基本の学力の定着をめざし、少人数(T・T)授業を実施及び、ベーシックタイム(朝の10分間学習=読み、書き、計算の習熟)の充実を図っている」

質問③「到達度検査(2~6年対象)や学力・学習状況調査(6年対象)の活用により、検証結果に基づき、指導方法や指導内容を工夫している」

すでに三錨でお知らせの通り、次年度から3年生以上で週1時間授業時間を増やします。そして朝のベーシックタイムを昨年までと同じく基礎・基本の定着時間に使います。学力向上に努めてまいります。

質問⑪「体育的取り組み(鉄棒月間、とび箱月間、持久走月間、なわとび月間)と体育の授業を運動させ、子どもたちの意欲と関心を喚起し、基礎体力の定着と運動能力の向上に努めている。

年間計画に基づいて各行事や○○月間(鉄棒・とび箱・持久走・縄跳び)、体育科の授業等を継続的に行っています。その成果もあってか、今年度全国実施の体力テスト(5年生)では、男女とも全国平均を超えました。



最後に

アンケート内容の改善について

保護者アンケートの回答で「わからない」の回答割合が少し多いと分析しています。アンケート内容やその評価方法について、新学習指導要領の本格実施に伴い、来年度から改善をしていきたいと考えてもいます。アンケートにご協力ありがとうございました。